

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化演習

教科：国語 科目：言語文化演習 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 1組～3組
教科担当者：（門野）
使用教科書：（「新編 言語文化」（数研出版））
教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすことができる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

科目 言語文化演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	様々な文章を読んで、論理的に考える力を身に付けるとともに、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	古文チェックポイント 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の表現の仕方、表現の特色などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉との違いを積極的に探したり、調べたりすることができる。	・指導事項 品詞の種類、現代語との違いについての問題演習 ・教材 教科書、プリント、小テスト			○	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古典特有の表現の仕方、表現の特色などについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉との違いを積極的に探したり、調べようとしている。	○	○	○	14
	ズームアップ 古語と現代語 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に古語と現代語の違いについて考察し、学習課題に沿って調べ学習に取り組もうとしている。	・指導事項 身の回りの古語的表現を調べ、現代語訳する。 ・教材 教科書、プリント、小テスト			○	【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に古語と現代語の違いについて考察し、学習課題に沿って調べ学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	「宇治拾遺物語」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとする。	・指導事項 本文の内容を的確に捉えたうえで、現代に残る慣用句の理解を深める。 ・教材 教科書、プリント、小テスト			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	○	○	○	14

[illegible]